

教育方法5

教育方法学'70年代の課題

I

教育方法学的原理に関する問題

一

知的能力の開発に関する試論

佐藤 三郎

二

人間形成の基本パターンの開発

岩橋 文吉

—世界的視野における七〇年代教育方法学研究の課題—

三

言語の退廃と教授の課題—言語の陶冶性の回復をめざして—

広瀬 俊雄

四

現代における問題解決学習の再検討

武田 紘一

五

学習指導と生活指導との統一—戦後教育実践記録分析の一試論—

藤田 輝夫

II

教育内容に関する問題

一

教育課程改革の方向

山田 敏

二

人間形成としての美術教育とは何か

宮脇 理

三

性教育のあり方

島津 幸生

III

学級集団・学習集団組織化の問題

一

学習「集団」の理論と実践—当面する課題をめぐって—

小田切 正

二

人間性を高める学級経営—小集団指導(小集団学習)に基づく学級経営—

板屋 秀夫

三

学級集団指導の研究とその課題—非行予防・集団づくりの実践から—

田中 秀文

IV

教育工学に関する問題

一

ティーチング・マシンと教師の指導性

小林 洋一郎

二

情報の増殖に対応する図書館と教育工学

三輪 和敏

V

授業研究に関する問題

一

現場における授業研究の方法—対象操作のかかわりにおいて—

手塚 皓一

二

教育における実験的研究の限界について

杉浦 美朗

付録

日本教育方法学会第六回大会発表要旨